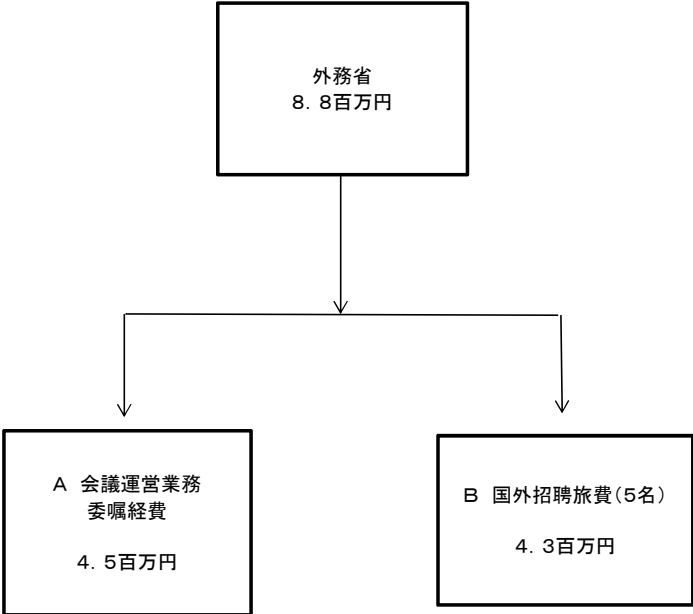


平成25年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	国連持続可能な開発会議（リオ＋20）フォローアップセミナー		担当部局庁	国際協力局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	地球環境課		課長 杉中 淳		
会計区分	一般会計		政策・施策名	基本目標Ⅳ：経済協力 施策Ⅵ－2－2：環境問題を含む地球規模問題への取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	別紙参照		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	2012年6月に開催された国連持続可能な開発会議(リオ＋20)では、ポスト2015年開発アジェンダの中核となる持続可能な開発会議(SDGs)の策定が決議され、現在、国連本部(米国・ニューヨーク)においてSDGsに関する政府間交渉が定期的に行われている。右政府間交渉は、2015年秋までに妥結することを想定されているが、我が国として、右交渉が本格化する時期を捉えて、主要国・地域のキーパーソンと我が国の有識者との意見交換を行うことにより、SDGsをめぐる我が国国内の議論に対する関係国の理解を深めてもらうとともに、SDGsに関する国際社会の議論の質を向上させることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際機関実務者及び国内有識者等の移動手段及び会場を然るべく確保し、セミナーを成功裡に開催する。							
実施方法								
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	—	—	—	—	9	
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	—	—	—	—	9	
	執行額		—	—	—			
	執行率(%)		—	—	—			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (26年度)
	国連持続可能な開発会議(リオ＋20)フォローアップセミナーへの国内外参加者。		成果実績	人				50
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	26年度活動見込
	国連持続可能な開発会議(リオ＋20)フォローアップセミナーの開催(平成26年：日本国内)		活動実績 (当初見込み)	回		()	()	(1)
単位当たりコスト	8,723千円(1会議あたり)		算出根拠	予算額÷会議回数				
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	国内有識者交通費・謝礼		—	0.4				
	会場借料		—	4.1				
	国外関係者招聘費		—	4.3				
	計		0	8.8				

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	本件は国際会議であり、政府が主体的に実施することが適切である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			—		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			—	本事業の理解促進の観点から、真に必要なものにつき、必要最低限の支出で行う。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	ポスト2015年開発アジェンダの中核となる持続可能な開発会議(SDGs)は、政府間交渉を通じて策定されることから、政府が主体的役割を果して同プロセスに係る各国との調整を行うことに、問題はなく、我が国の考えをSDGsに然るべく反映するために有意義な事業である。					
外部有識者の所見						
—						
行政事業レビュー推進チームの所見						
	適切かつ効率的な事業実施に努める。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
	—					
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※平成26年度想定



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)